

## 本市の災害対応力の強化に対する取組について

### ■ 名古屋大学減災連携研究センターについて

- ・ 最先端の減災研究に基づいて、地域全体の様々な連携を深め、減災実現モデルを創ることを目的に平成24年1月に発足。
- ・ 減災社会の実現を目指し、減災のための研究、人材育成、地域連携、国際連携の各分野での取組を推進している。
- ・ 視察が予定されている「減災館」は、センターの活動拠点として平成26年3月に完成。
- ・ 減災の必要性を実感できる教材を備えたギャラリーや防災・減災に関する書籍、資料が閲覧できるライブラリーなどが整備されており、建物全体を活用した振動実験もできるようになっている。

### ■ 本市の取組事例について

#### (減災のための研究)

- ・ 西日本工業大学と防災に関する覚書を締結し、災害が発生した際には、「防災アドバイザー」として専門家を派遣してもらい、災害発生メカニズムや対策等について助言をいただいている。
- ・ 産学官共同研究(北九州市消防局、北九州市立大学、シャボン玉石けん(株))により環境配慮型の石けん系泡消火剤を開発し、普及促進を行っている。

#### (人材育成)

- ・ 北九州市立大学と協力し、大学の講義に「地域防災への招待」という防災科目を設置し、新たな地域防災の担い手を育てる人材育成事業を行っている。

#### (地域連携)

- ・ 東京大学 片田敏孝特任教授に監修をいただき、地域防災力向上のため、住民主体の地区防災計画の策定支援等を行う「みんな de Bousai まちづくり推進事業」を実施している。

#### (国際連携)

- ・ 北九州市立大学が行っている JICA 草の根協力支援事業を通じて、ベトナムハイフォン市に、本市が行っている防災の訓練手法を提供、指導している。